

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 1 月 20 日作成)

| | | |
|------------------------------|---|--|
| 小委員会名 | 住宅の地方性小委員会 | 主 査 名：吉田友彦 就任年月：2015 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 建築社会システム本委員会 | 委員長名：平野吉信 主 査 名： |
| 設 置 期 間 | 2015 年 4 月 ～ 2017 年 3 月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | 本小委員会は、下記の 3 点を中心に、地域の住まいづくりや居住政策に関する共同研究と研究情報交流を行うことを目的として設置する。 1) 風土性に基づく住宅の地方性の探求 2) 都市レベルに基づく住宅の地方性の探求 3) 地方自治体の住宅・居住問題の把握と政策への提言 | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：なし 吉田友彦 (立命館大学)、長谷川洋 (国土交通省国土技術政策総合研究所)、佐藤 由美 (奈良県立大学)、馬場麻衣 (北方建築総合研究所)、佐藤慎也 (山形大学)、川崎直宏 (市浦ハウジング&プランニング)、阪東美智子 (国立保健医療科学院)、葉袋奈美子 (日本女子大学)、菊地吉信 (福井大学)、碓田智子 (大阪教育大学)、平山洋介 (神戸大学)、澤田康路 (鳥取大学)、川田菜穂子 (大分大学)、小山雄資 (鹿児島大学) | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | ① 地域住宅統計情報 WG：住宅関連統計調査の調査項目・内容及びその政策・計画への活用方法等の研究 ② 住宅市場政策 WG：住宅市場政策及びセーフティネット政策のレビュー・評価・政策効果等の研究 ③ 住まい・まちづくり学習 WG：地域の住まい・まちづくり学習実践の支援システム、実践的プログラム等の研究 | |
| 2015 年度予算 | 65,000 円 | ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keizai/chihosei/ |

| 項 目 | 自己評価 |
|---|---|
| 委員会開催数 | 3 回 (年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画 | |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パ ブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係) | 1. 2015 年度活動計画①にもとづき、2015 年 5 月 29～31 日に定例の春季研究会を山口県下関市において公開研究会として行った。 2. 2015 年度活動計画①にもとづき、2015 年 9 月 3 日に郊外住宅地の持続性に関する研究会を横浜市において公開研究会として行った。 3. 2015 年度活動計画④にもとづき、地域住宅統計情報に関する研究者向けアンケートを行い、分析ととりまとめ作業を開始した。 4. その他 2015 年度活動計画②および③にもとづき、登録メンバー 100 名程度に対して通信を発信し、住宅史に関するシンポジウム等、住宅の地方性に関する研究情報を共有した。 |
| 委員会活動の問題点 ・課題 | 1. 地域住宅統計情報に関する調査分析結果のとりまとめを行う。 2. 2016 年 6 月に予定する春季研究会 (金沢研究会) の詳細を計画する。 3. 2016 年 8 月の大会時研究会 (九州) の詳細を計画する。 |